

石巻市子どもセンターらいつの開館から遡ること3年、東日本大震災の発生後まもなく、被災地の子ども支援のため、セーブ・ザ・チルドレンは「子どもまちづくりクラブ」を立ち上げました。

その活動の中で、子どもたちが自分の希望を自由に語り合い、自らが思い描いた自分たちの居場所は、「石巻の活性化のために中高生が中心となってつくり、運営をする施設。みんなが過ごしやすく、子どもの想いを世間の人たちに伝えられる場所」でした。

このコンセプトの具現化のために、セーブ・ザ・チルドレンは、企画・デザインから子どもまちづくりクラブの子どもたちと一緒に関わり、「らいつ」を作りました。

こうして完成した「らいつ」に対して、館長の派遣をはじめ、スタッフへの指導や研修など細部に至るまで運営をサポートしていただき、「らいつ」の基礎が形作られました。

また、指定管理者制度に移行するときも、子どもまちづくりクラブで育った子どもたちが委員として選定に加わりました。市としても大きな挑戦でしたが、セーブ・ザ・チルドレン・ジャパンの丁寧な指導により子どもたちはしっかりと役割を果たすことができ、「らいつ」は、子どもの権利と子どもの参加を具現化した児童館として、全国的にも稀有な存在となっています。これは石巻の誇りであり、子どもたちにとっても誇りです。

震災後の子どもたちの心に寄り添う支援に始まり、「らいつ」開館から5年間の長きにわたる運営サポートは、指定管理団体の運営が軌道にのったことを見届けた段階で終了することとなりましたが、石巻市は、これからも子どもの権利・子ども参加を柱に、子どもたちの想いを形にする施設として、セーブ・ザ・チルドレンの思いを継ぎ、「らいつ」を大切に運営してまいります。

石巻市子育て支援課